

(様式3)

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム菜の花

作成日：平成 26 年 2 月 26 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	センター方式のアセスメントシートの活用により、希望や意向の把握の充足が見込まれているため、今後速やかに全利用者に対して導入を進めることが望まれる。又利用者の状態に変化がなくても定期的なアセスメントを行って新たな情報を適切に追加していくシステムづくりに期待したい。	現在認知症研修に一人でも多く参加をし、認知症の理解を学び、センター方式に取り組んでいけるようにする。	認知症研修に参加した人を中心に、内部研修にて計画を立て、その人の言動や関わり方への変化を見つけ、その人らしい生活を継続するようなシステム作りをしていく。	12ヶ月
2	6 (5)	身体拘束に関する研修や勉強会の実施が確認できなかった。あらゆる身体拘束についての理解を深めることが自分たちの実施しているケアの振り替えに繋がることから、定期的な研修会を行って身体拘束をしないケアの実践により一層努めていくことを期待したい。	身体拘束のマニュアルを再度確認し、整備する。そのマニュアルに添って研修会を実施し、取り組む。	日々身体拘束は行っていないが、知識を身につけることで、さらに身体拘束をしないケアの実践に繋げる。	6ヶ月
3	7 (5-2)	身体拘束に特化した内容のマニュアルは確認できたが、虐待防止に関する項目が確認できなかった。処遇の標準化においてマニュアルは必要不可欠なものである為、早急な整備が望まれる。又参加した研修会のないようについて職員全員で共有できるよう伝達研修の実施を期待したい。	早急に整備する。	虐待防止に関する外部研修は毎年何名か参加して虐待のないケアを行っているが、マニュアルを用いた研修は行っていないため、今後内部研修でマニュアルに添った研修でさらに知識改善を図っていく。	2ヶ月
4	34 (12-2)	急変や事故発生時の対応は現場の職員にとって大きな不安となり得ることに鑑み、あらゆるケースを想定した対応方法のマニュアルを作成すると共に、それに基づいてシミュレーションを行うなど繰り返し勉強会や訓練を行って職員の実践力の向上を図ってほしい。	事故発生を出さないことを目標に取り組む。	緊急時の対応としての取り組みを既に研修会を行い実践している。変化を早く見つけることを最優先として、夜間の対応が困難のため、日中に早めの変化を見つめるよう、職員全体が、病状の変化に気づく勉強会を行っている。	1ヶ月
5	33 (12)	家族や本人にとって住み慣れた場所で最期まで面倒を見てもらいたいと思う気持ちは当然生じるものであり、重度化や終末期の住みかえに対する不安は強いと考えられる。現状では対応が難しいこと、ホームで支援出来る事とできないこと、重度化した場合の対応の概要等を、口頭だけでなく文書でも示して家族、本人に十分に説明して不安を軽減し、理解を得ることが望まれる。	最後まで面倒を見ていくことを目標にしているが、看護師の関係や、主治医の関係などで現在書面作成は行っていないが、家族が望む部分までは面倒を見たいと思っている。その為に主治医との関係を家族を通して確認を行っていく。	家族の意向を聞きだし、最期の場所、主治医との連携を通して本人の一番良い方法を見つける。	12ヶ月